

進路だより～2学期終業式号～

明星第167号

令和7年12月24日

キャリア支援部進路支援班

進路だよりでは、生徒のキャリア観育成を目的とした「進路講演会」の内容、進路に関する取り組み、そして職員研修の報告をし、将来に関するご家庭での対話を深めるきっかけとして、ぜひご一読ください。

1. 進路講演会：「大人ってなんだろう」から考える家族の対話

12月5日（金）、宮崎県キャリア教育支援センターの長友はるな氏を講師にお招きし、「大人ってなんだろう」をテーマに、全学部の児童生徒と保護者が参加する講演会を実施しました。

本講演会は、3つのグループに分かれて行うグループワークによる対話と意見交換を活動の核としました。「子どもの頃の夢」から始まり、「大人としての責任や自由」に至るまで、児童生徒は自身の考えを活発に発信しました。

長友氏が最も強く訴えられたキーワードは、「進路について家族みんなで話し合う」ことの大切さです。「子どもが自分の考えを伝えること」、そして「保護者がそれを温かく傾聴し、見守ること」の重要性が示されました。この双方向の対話こそが、「子どもと一緒に将来を考える」という本質的な目的に到達する鍵であると、教職員一同改めて認識いたしました。

児童生徒に向けては、「真剣に話し合い、自分で選んだ人生を応援してもらえる大人になってほしい」という力強いメッセージが送られました。今回の学びをご家庭に持ち帰り、この機会にぜひ、将来の可能性について親子でじっくりと対話する時間を使って欲しいと思います。

2. 各学部の2学期の進路に関する取組

○小学部の取組

「自己理解と社会への関心の芽生え」「学びと将来のつながりの意識の育成」を重点に、修学旅行、校外学習、オンライン交流授業等を実施しました。これらの活動は、教科や自立活動で習得した知識・技能を社会の中で「実際に確認し、体験し、実践する」貴重な機会です。自分にできることや直面した課題を振り返ることで、将来の生活を豊かにし、可能性を広げるための自己理解と社会性の芽生えを促しています。

○中学部の取組

学年に応じた進路学習を計画的に行っています。今年度は1年生は職場見学として、

夏休みに旭化成アビリティを訪問し、働くことへの意識を高めました。3年生は進路選択に繋がる学習の一環として、交流校で行われた私立・県立高校の説明会や各校のオープンスクールに参加し、進路選択について考えを深めました。地域との交流では、住吉中学校との交流学習を継続的に行い、社会性を養っています。

○普通科の取組

宮崎北高校との交流を通じ、互いへの理解を深めました。本校生徒は一般校での学習・集団生活を経験し、北高生は視覚障害者スポーツや支援用具を知ること、多様な工夫による問題解決を学びました。

その他、生徒の進路希望に合わせた体験学習も実施しています。1年生は宮崎大学教育学部や宮崎北高校の授業を見学し、高等教育機関での学びや高校での学習内容について具体的な理解を深めました。3年生は2週間の職業体験学習を実施し、職業人としての意識や厳しさを肌で感じ取る貴重な機会を得ました。

○理療科の取組

国家試験合格に向け、年3回の校内模擬試験と補習を行い学力向上を目指しています。最近の出題傾向に対応するため、特に読解力と集中力を養う指導に力を入れています。実習においては、敬老奉仕活動や地域でのマッサージ体験（例：楠並木朝市）等を通じ、専門技術力の向上に加え、社会人・理療師として必須の実践的な接遇力とコミュニケーション能力を育成しています。

3. 職員研修報告：熊本盲主催「当事者に学ぶ会」に参加して

11月28日（金）に熊本県立盲学校主催のオンライン講演会に、本校職員が参加しました。

講師は、国際基督教大学（ICU）卒業後にNGOアークを設立された全盲の堀内佳美氏です。堀内氏の「楽しいことだから頑張れる」という前向きな姿勢と、自身の目標を実現するための強靱な行動力は、参加した教職員に大きな感銘を与えました。

堀内氏は、「子どもにたくさんの経験をさせ、温かく見守って欲しい」というメッセージを保護者の皆様へ送られ、私たち教職員は改めて経験学習の重要性を再認識しました。本研修会は熊本盲学校のYouTubeチャンネルから視聴が可能です。下記URLよりアクセスいただけます。ぜひ、この貴重な講演会の様子をご視聴ください。

https://www.youtube.com/watch?v=N_2dMq_mzJo